

学年	中学3年	教科	国語	科目	国語	単位数	5
教科書名	国語3(光村図書)		副教材名	常用漢字の級別学習コンプリート新装版(京都書房) 国語活用資料集(新学社) 漢文名文選故事成語編(筑摩書房) 新精選古典文法改訂版(東京書籍) 解いて覚える中学生の文法(東京法令出版) 学習のポイントが見えるよむナビ 現代文1 基礎編 (いっずな書店)			
コース・クラス	中高一貫						

## I. 目標

社会生活に必要な国語の知識や技能を育成するとともに、思考力や想像力を養い社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

## II. 授業のねらい

- 1 文章の種類を踏まえ、構成や展開、表現の仕方などを捉え、評価するなど自分の意見をまとめる力をつける。また、文章の見方や考え方について、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができるようにする。
- 2 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字、四字熟語、慣用句などについて理解を深め、和語・漢語・外来語などを使い分けを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。
- 3 百人一首をはじめとする古典作品に触れることで、古語や古典文法、言い回しなどの古文特有の表現、時代背景に興味を持ち、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができるようにする。
- 4 漢文の文法や表現、リズム、時代背景を理解することで漢文の世界に親しむ。

## III. 授業の進め方

- 1 対話型授業、問答型授業を主として、生徒の発言を促していく授業形式を取る。
- 2 文章の内容や構成、表現方法を理解することを主とし、電子黒板やiPadなど様々なICTを活用する。
- 3 古文では『新精選古典文法』、漢文では『漢文名文選故事成語編』を使用し、古典文法や漢文句法の導入を行う。
- 4 初見問題など演習の時間を多く取る。また、漢字テストを毎週実施し、語彙力の定着を図る。

## IV. 学習上の留意点

- 1 配布したプリントはノートに貼るかファイリングし、整理・保管しておく。
- 2 積極的に授業に参加するとともに、必要な情報をノートにまとめる。
- 3 課題・小テストの計画表を確認し、必ず事前に対策を行う。

## V. 定期試験(状況によって変動する場合がある)

- ・1学期中間試験…『握手』、俳句、「和語・漢語・外来語」、百人一首、初見問題
- ・1学期期末試験…『作られた「物語」を超えて』、『挨拶』、古典文法(用言)、百人一首、初見問題
- ・2学期中間試験…『人工知能との未来』、『人間と人工知能と創造性』、『おくのほそ道』、古典文法(用言)、百人一首、初見問題
- ・2学期期末試験…漢文、『論語』、『誰かの代わりに』、『故郷』、百人一首、初見問題
- ・学年末試験 …古典文法(助動詞)、『万葉集』、『古今和歌集』、『新古今和歌集』、『高瀬舟』、百人一首、初見問題

## VI. 評価の方法

- 1 定期試験・授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト・計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物・課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

## VII. 授業計画

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標	
一学期	4	『握手』 『俳句の可能性』 『俳句を味わう』 和語・漢語・外来語 百人一首	・定期試験 ・小テスト ・提出物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に描かれた人物の言動に着目し、心情を読み取る。</li> <li>・作品の展開を踏まえて人物像を捉える。</li> <li>・俳句の技法や構成を理解し、リズムに親しむ。</li> <li>・和語・漢語・外来語の特徴について理解する。</li> </ul>	
	5				
	6				<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や展開を確かめながら、筆者の主張を読み取る。</li> <li>・複数の観点から同じテーマで書かれた文章を読み比べ、自分の考えをまとめる。</li> <li>・比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考える。</li> </ul>
	7	古典文法（用言） 百人一首		<ul style="list-style-type: none"> <li>・用言（動詞・形容詞・形容動詞）の活用を理解する。</li> </ul>	
二学期	9	『人工知能との未来』 『人間と人工知能と創造性』  『おくのほそ道』  古典文法（用言） 百人一首  漢文の訓読 返読文字、置き字 『論語』	・定期試験 ・小テスト ・提出物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。</li> <li>・文中のキーワードに注意して筆者の考えを捉える。</li> <li>・文章を批判的に読み、自分の考えをまとめる。</li> <li>・具体的な題材を基に、その価値などについて評価する。</li> <li>・表現方法を考えたり、資料を引用したりして、説得力のある文章を書くことができる。</li> <li>・古典の世界に興味・関心を持つとともに古典にさまざまな種類があることを理解する。</li> <li>・歴史的仮名遣いに注意して繰り返し音読し、古典のリズムを味わう。</li> <li>・用言（動詞・形容詞・形容動詞）の活用を理解する。</li> </ul>	
	10				
	11				<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓読に必要な決まりを知り、漢文特有のリズムを味わう。</li> <li>・返読文字について学習する。置き字について学習する。</li> <li>・「論語」に当てはまる、自身の体験または考えを関連づけ、文章にする。</li> </ul>
	12				<ul style="list-style-type: none"> <li>・『誰かの代わりに』 『故郷』 百人一首</li> <li>・抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味を捉えながら読む。</li> <li>・言動やその周りの風景などから、登場人物の心情を読み取る。</li> <li>・場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。</li> <li>・それぞれの人物像を理解し、作品の主題を読み取る。</li> </ul>
三学期	1	古典文法（助動詞） 百人一首（百人一首大会） 古今和歌集「仮名序」 万葉・古今・新古今  『高瀬舟』	・定期試験 ・小テスト ・提出物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞の種類・意味を判別、理解する。</li> <li>・『古今和歌集』の「仮名序」を読み、当時の人々の和歌への思いを知る。</li> <li>・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら和歌の世界に親しむ。</li> <li>・意味や修辞などに注意して鑑賞する。</li> <li>・文章の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方を捉え、人間や社会についての考えを深める。</li> <li>・作品に描かれた周囲の風景や登場人物の言動、心情を手掛かりに作品の主題を考える。</li> </ul>	
	2				
	3				